

第96期 ミニディスクロージャー

FIRST BANK

www.first-bank.co.jp

営業のご報告

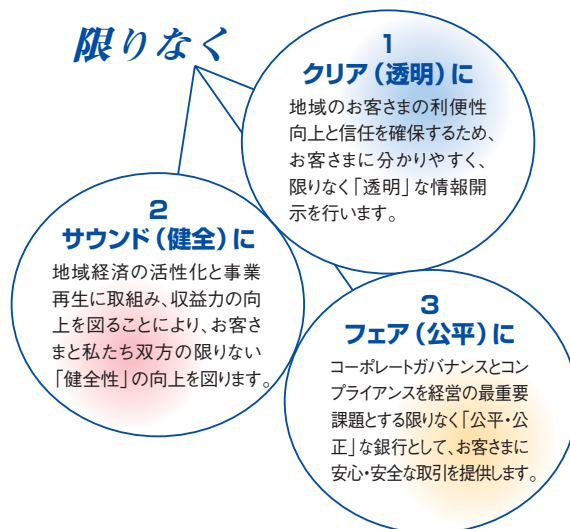
平成18年4月1日—平成19年3月31日



CONTENTS

ごあいさつ	3
事業の概況	4
業績ハイライト	5
格付けについて	6
自己資本比率について	7
金融再生法開示債権	7
地域密着型金融推進計画の進捗状況	8
地域への貢献	9
お知らせ	11
連結貸借対照表	12
連結損益計算書	12
連結株主資本等変動計算書	12
貸借対照表	13
損益計算書	13
株主資本等変動計算書	13
株式のご案内	14
役員	14
連結子会社の状況	14
店舗のご案内	15
店舗外ATMのご案内	16

経営理念



当行の概要

設立年月日 昭和19年10月1日

資本金 80億円

本店 富山市総曲輪二丁目2番8号

店舗数 67店

従業員数 734名

(平成19年3月31日現在)

<http://www.first-bank.co.jp/>

ごあいさつ



取締役頭取

西田 純二

皆さまには、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

ここに当行第96期の営業の概況と決算の状況につきましてご報告申し上げます。

平成18年度の日本経済は、設備投資が内需拡大の原動力として好調さを維持してきました。また、好調な企業業績を受けた雇用情勢の改善から、個人消費においても明るさが出てきたことを背景に、住宅建設も前年を上回るなど、景気は緩やかながら回復を続け、戦後最長の「いざなぎ景気」を超える長期の拡大が続きました。

しかし、IT分野の調整や原油価格高騰の影響等から、企業業績や価格転嫁に伴う消費の悪化が懸念され、景気に減速感が出るのが予想されます。

金融情勢を見ますと、本年度末から適用されるバーゼルⅡ（新BIS規制）への対応としてリスク管理の高度化、精緻化が求められております。

金融政策面では、日銀は物価の安定を維持しつつ着実な景気拡大の持続を狙いとして、7月14日にゼロ金利政策を解除し、5年4か月ぶりに政策金利を0%から0.25%に引上げ、さらに本年2月21日には0.50%まで引上げ資金の流れや資源配分の適正化に取り組んでおります。

このような金融経済環境のなかで、当行は適切な対応と経営全般にわたる効率化により経営体力の強化を図り、健全経営の維持向上に努めました結果、株式会社日本格付研究所（JCR）から格付け「A」を取得し、経営の安全性について高い評価を得ることができました。一方、お客さまの多様化・高度化するニーズへの対応や、利便性向上に向けた体制の整備に努め、これまで「資産運用プラザ」の開設や北國、福井両行との業務提携による「ビジネス商談会」の共同開催、ATMの相互無料開放等を行ってまいりました。これからも、多様で良質な金融商品・サービスの提供に努め、地域経済の活性化、地域社会の発展に寄与してまいります。

今後とも何卒一層のご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

平成19年6月

企業集団の主要な事業内容

当行グループは、当行、子会社及び子法人等5社で構成され、銀行業務を中心にリース業務等の金融サービスに係る事業を行っています。
〔銀行業〕

当行の本店ほか支店・出張所66店において、預金業務、貸出業務、為替業務、商品有価証券売買業務等を行い、グループの中心と位置づけております。

また、富山ファースト・ビジネス(株)において、銀行事務代行業務等を行っています。

〔リース業〕

富山ファースト・リース(株)及び富山ファースト機販(株)において、各種のリース業務を行っています。

〔その他業務〕

富山ファースト・ディーシー(株)において、クレジットカード業務を行っています。また、(株)富山ファイナンスにおいて、信用保証業務を行っています。

企業集団の事業の経過及び成果

譲渡性預金を含めた預金等につきましては、プレミアム定期の発売などお客さまへのサービス向上を旨として営業基盤の拡充に努めました結果、個人国債等一部金融商品にシフトしましたが当期中に292億円増加し当期末残高は8,861億円となりました。

貸出金につきましては、個人向け住宅資金、地方公共団体ならびに地元中堅・中小企業を中心とした資金需要に積極的に応えてまいりました結果、当期中に14億円増加し当期末残高は6,607億円となりました。

有価証券につきましては、資金の効率運用のため、国債や地方債等の引受や購入に努めました結果、当期中に309億円増加し当期末残高は2,974億円となりました。

外国為替業務につきましては、当期中の取扱高は前年に比べ1億5800万ドル増加し9億5700万ドルとなりました。

損益状況につきましては、当連結会計年度の経常収益は、貸出金利が利回り低下等により減少しましたが、有価証券利息配当金等の増加により資金収益が増加したことや、株式等の売却益が増加したことから278億9800万円（前連結会計年度比4.4%増）となりました。一方、経常費用は、不良債権処理費用の減少等がありましたが、預金金利の引上げ等による資金調達費用が増加したことから221億4200万円（同1.0%増）となりました。この結果、連結経常利益は57億5600万円（同19.9%増）、連結当期純利益は25億9200万円（同46.4%増）となりました。

対処すべき課題

金融界におきましては、保険取扱商品の拡大、銀行代理店制度の見直しや郵政民営化など各種規制緩和がますます進んでまいります。

一方、平成18年2月には偽造・盗難カード預金者保護法の施行や5月の会社法施行に伴いディスクロージャーの信頼性を確保するため、開示企業における内部統制を充実し、経営者に有価証券報告書の開示が適切である旨の宣誓が義務付けられるとともに、財務報告に係る内部統制の有効性を評価した内部統制報告書の作成が義務付けられるなど、利用者や投資家保護の各種施策が進められております。

さらに、平成19年3月期からの自己資本比率の規制等を改定するバーゼルⅡの導入により、総合的な観点での健全性確保のための各種リスクを把握し、経営に必要な自己資本額を検討する「自己管理型のリスク管理」が求められています。

また、金融庁が公表した「地域密着型金融の機能強化の推進に関するアクションプログラム」に基づき策定・推進してきた地域密着型金融推進計画は平成18年度が重点強化期間の最終年度でありましたが、当行は引き続き事業再生・中小企業金融の円滑化、経営力の強化、地域のお客さまの利便性向上への取組みを一層強化しさらに推進してま

いらいます。

「コンプライアンス態勢の充実と強化」につきましては、コンプライアンスプログラムを策定し、それに基づき当行グループ挙げて実施するなど、当行の最重要課題としてコンプライアンス重視の行動を全役職員に定着させて参りました。今後も更なる定着に向けた取組みを強化してまいります。なかでも、個人情報保護がコンプライアンスにおける主要課題のひとつであるとの認識の下、一層の管理態勢強化を図ってまいります。

地域の皆さまに対しましては、これらの取組状況をディスクロージャー誌、マスコミ、ホームページ等を活用して適時適切に開示してまいります。

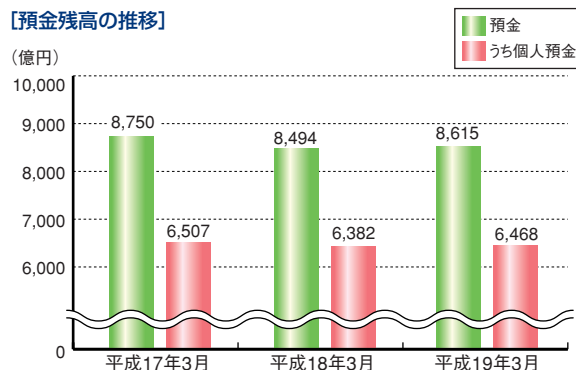
当行は、平成17年度からスタートした第10次長期経営計画に基づき、「地域への貢献」、「経営力の強化」、「収益力の強化」を基本方針とし、その達成に取り組んでまいりましたが、今後も引き続き地域のお客さまに一層満足いただける銀行を目指して、役職員一丸となって取り組んでまいります。

預金残高について

プレミアム定期の発売など、より一層地域に密着した営業活動を展開し、お客さまへのサービス向上を旨として営業基盤の拡充に努めました結果、個人国債等一部金融商品にシフトしましたが、平成19年3月末残高は前年同月末比121億円増加し8,615億円となりました。

同様に個人預金は前年同月末比86億円増加し6,468億円となりました。

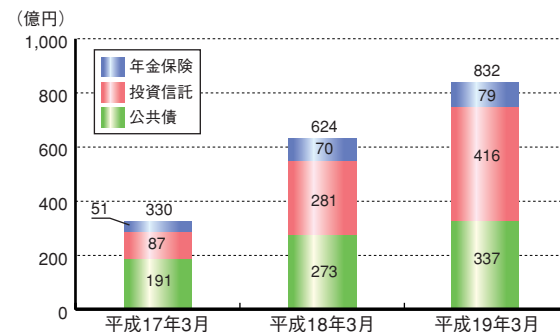
【預金残高の推移】



個人預り資産の推移

超低金利が長期化する中、お客さまの多様化する資産運用ニーズにお応えするため、年金保険、投資信託、公共債等の窓口販売を積極的に推進して預り資産の増強を図りました結果、残高は832億円となりました。

【個人預り資産残高の推移】

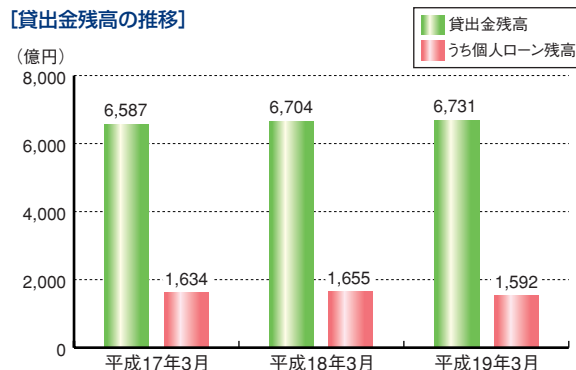


貸出金残高について

貸出金につきましては、個人向け住宅資金、地方公共団体ならびに地元中堅・中小企業を中心とした資金需要に積極的にお応えしてまいりました結果、平成19年3月末残高は前年同月末比27億円増加し6,731億円となりました。

また、個人ローンは住宅資金などの資金需要に積極的にお応えしましたが、平成19年3月末残高は前年同月末比63億円減少し1,592億円となりました。

【貸出金残高の推移】



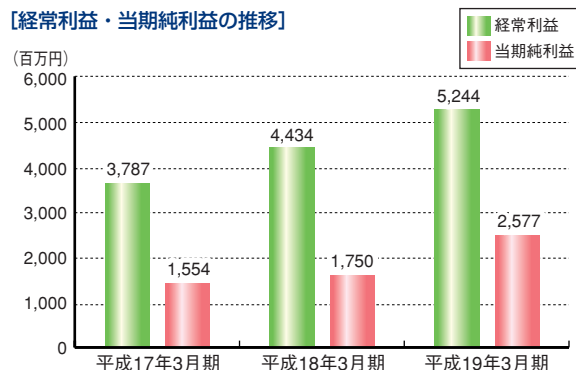
業績ハイライト

経常利益・当期純利益

貸出金利息が利回り低下等により減少しましたが、有価証券利息配当金が増加したことや株式等売却益が増加したことにより、経常収益は、前年同期比10億3百万円増加し231億17百万円となりました。一方、不良債権処理の減少や経費の削減に努めましたが、預金利息が増加したことにより、経常費用は前年同期比2億21百万円増加し178億73百万円となりました。この結果、経常利益は前年同期比8億10百万円増加し52億44百万円となりました。

以上の結果、当期純利益は、前年同期比8億27百万円増加し25億77百万円となりました。

【経常利益・当期純利益の推移】



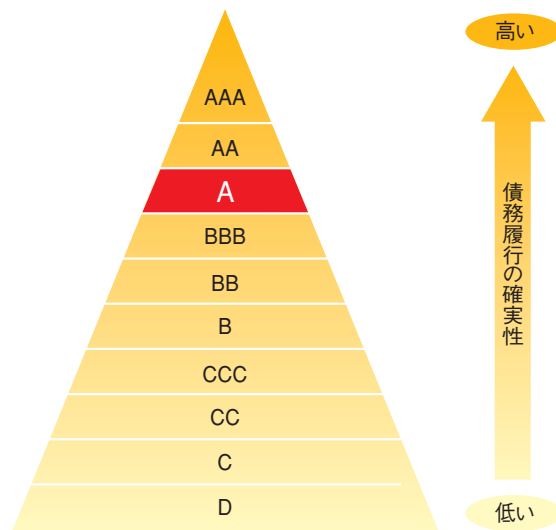
格付けについて

格付け機関より高い評価を得ています

当行は、株式会社日本格付研究所より、長期優先債務に対する格付「A（シングルAフラット）」を取得しております。これは、10段階ある日本格付研究所の格付等級のなかで上から3番目にあたり、「債務履行の確実性が高い」という評価です。今後もさらに財務体質の健全性や営業力を強化し、皆さまの信頼にお応えしてまいります。

格付け

企業などが発行する債券（社債等）や銀行預金の元金・利息支払いの安全度を、第三者の格付け機関が判断し、記号で示したものです。企業の安全度を客観的に評価したものとして、重要な指標となっています。



自己資本比率について

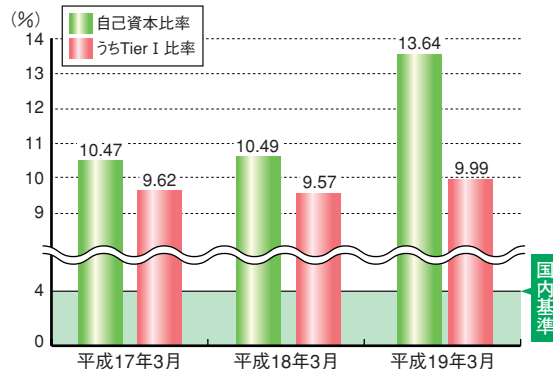
自己資本比率は健全基準を大幅にクリアする13.64%

新基準による当行の自己資本比率は13.64%と国内基準で求められている4%を大幅に上回っています。また、基本的項目（本来の自己資本）で算出したTier I 比率でも9.99%と国内基準の2倍以上の高い水準で推移しています。さらに子会社5社を含めた連結自己資本比率は14.08%と一層安定した水準を維持しております。当行はお客さまからの多様なニーズにお応えするため、今後も引き続き良質な資産の積み上げによる自己資本の充実に努めてまいります。

なお、お客さまからの長期安定的な資金需要等にお応えするとともに、自己資本の一層の充実による財務・経営体質の強化を図ることを目的に、本年3月に150億円の劣後ローンの借入を行いました。

新基準とは新BIS規制といわれるもので、信用リスクアセットの把握を精緻化するとともにオペレーショナルリスク量を加える等の改正がなされたものです。

【自己資本比率の推移(単体)】



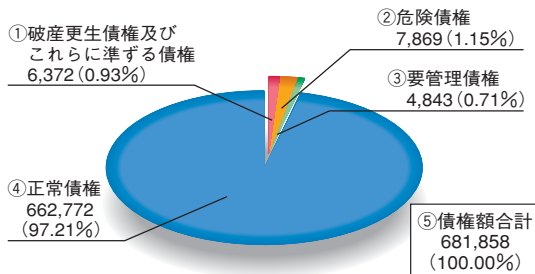
金融再生法開示債権

資産内容の一層の健全化に努めています

当行では、資産の健全性をより促進するために毎期厳格な自己査定を行い、適切な償却・引当を行うことに加え、お取引先に対する経営支援を強化し、債権内容の良化に努めています。

一定額以上の大口債務者について個社別に経営改善計画等に基づく今後の業績予想等により、将来のキャッシュフローを見積もり、引当金を計上するキャッシュフロー見積法を採用しております。

【金融再生法に基づく開示債権(平成19年3月)】



●金融再生法に基づく開示債権

(単位：百万円)

	平成17年3月	平成18年3月	平成19年3月
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	10,291	7,649	6,372
危険債権	9,841	12,261	7,869
要管理債権	6,935	5,305	4,843
小計 (A)	27,069	25,216	19,085
正常債権	641,754	655,298	662,772
債権額合計 (B)	668,824	680,514	681,858
小計の債権額に占める割合 (A)/(B)	4.04%	3.70%	2.79%
保全額 (C)	25,233	23,309	17,433
貸倒引当金	7,949	9,112	6,543
担保・保証等	17,283	14,197	10,890
保全率 (C)/(A)	93.21%	92.43%	91.34%

地域密着型金融推進計画の進捗状況

創業・新事業支援機能等の強化

事業再生に向けた積極的な取組

お客さまへの説明態勢整備・
相談苦情処理機能の強化

取引先企業に対する相談・
支援機能の強化

担保・保証に過度に依存しない融資の推進

人材の育成

法令等遵守（コンプライアンス）態勢の強化

ガバナンスの強化

リスク管理態勢の充実

収益管理態勢の整備と収益力の向上

ITの戦略的活用

地域のお客さまの
利便性向上

事業再生・
中小企業金融の円滑化

経営力の強化

平成18年度における主な取組実績

事業再生・
中小企業金融の円滑化

中小企業基盤整備機構と業務連携

「市場誘導業務」の取組開始

業種別審査マニュアル等の手引書を作成

経営改善支援取組み先のうち34先ランクアップ

中小企業再生支援協議会との情報共有

クレジットポリシー（案）を作成

苦情等記録簿の改訂により報告と受付体制の強化

当行独自のビジネス商談会の実施

担保保証に過度に依存しない融資商品の発売

「企業支援実践研修」（1年間実施）を終了

事業再生会議の実施によるレベルアップ

地域のお客さまの
利便性向上

ホームページ上に
地域貢献活動としての
各種支援活動を紹介

ホームページ上に
「お客さま満足度アンケート」の
集計結果等を公表

経営力の強化

信用リスクの計測システム体制を確立

調達慣習の見直し(ストラテジック・ソーシング)実施

「操作証跡記録・抑止システム」導入

指定休務制度の導入

マルチペイメント（国庫金）開始

FIT ネット3行提携によるATM相互開放（入金ベース）

行内LAN回線の高速化及びセキュリティ機能アップ

投資信託情報系システム導入

暗証番号について注意喚起の案内

共同バックアップセンターの運用開始

ATMご利用明細票の発行選択を実施

■地域密着型金融推進計画の詳細は、当行ホームページに掲載しております。 <http://www.first-bank.co.jp/>

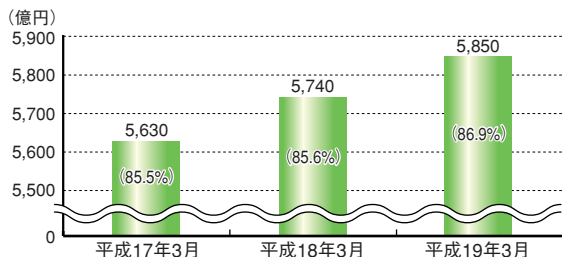
地域への貢献

富山県内向け貸出金の推移

当行は、地域経済の発展とともに歩む金融機関を目指し、地元富山県内における幅広い資金ニーズに積極的に応えております。平成19年3月末の富山県内向け貸出金残高は5,850億円、当行の貸出金全体に占める比率は86.9%となり、残高、シェアとも着実にアップしております。

[富山県内向け貸出金の推移]

(グラフ内%は貸出金全体に占める比率)



FITネット商談会

「FITネット」は当行、株式会社北國銀行、株式会社福井銀行の3行業務提携事業の総称です。

平成18年10月3日、福井県越前市のサンドーム福井において、3行共同主催の第2回FITネット商談会を開催致しました。当日は参加企業数600社・団体(236ブース)、来場者3,950名、商談数1,965件と盛大な開催となりました。第3回は平成19年10月11日(木)に富山県での開催であり、会場は、富山産業展示館(テクノホール)・富山市体育文化センターを予定しております。



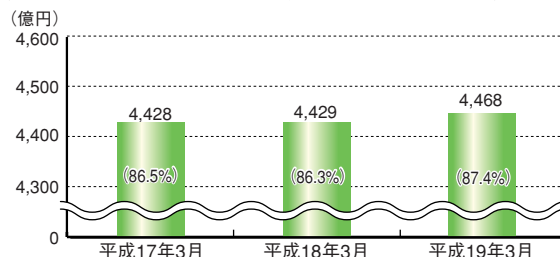
FITネット商談会の様子

富山県内中小企業等向け貸出金の推移

平成19年3月末の中小企業等に対する貸出金のうち、地元富山県内の中小企業等への貸出金残高は4,468億円、中小企業等貸出金全体に占める比率は87.4%となりました。今後も地域金融機関として地域経済の発展とともに歩んでまいります。

[富山県内中小企業等向け貸出金の推移]

(グラフ内%は中小企業等向け貸出金全体に占める比率)



ファーストバンク・ビジネスクラブの活動

ファーストバンク・ビジネスクラブでは、インターネットによる企業経営に関する情報提供・情報交換、企業経営にかかる媒体物の配布、交流会実施によるビジネスマッチング・各種セミナーの開催、経営相談・コンサルティング等の積極的な活動を行っています。

[ビジネス交流会]

平成18年5月24日、富山国際会議場において、ファーストバンク・ビジネスクラブ主催の「ビジネス交流会2006」を開催致しました。県内外の企業や大学など232社・団体(76ブース)が参加し大好評を博しました。

[中国ビジネス倶楽部]

会員向の新サービスとして「中国ビジネス倶楽部」を追加致しました。これは、当クラブが提携しているSMBCコンサルティング(株)のサービスのひとつであり、これを機に会員の皆さまの中国ビジネス関連の相談が可能となりました。



地域への貢献

財団法人 富山第一銀行奨学財団による支援

(財)富山第一銀行奨学財団では、学術研究活動支援を目的として、各教育機関へ助成活動を行っております。

平成19年度は富山県内の大学3校をはじめ、短大、高等専門学校等の27研究機関に総額13,220千円の助成を決定いたしました。また、昭和34年の財団設立以来行っている学生への奨学金の給貸与は、平成19年度の2名を加え総数309名となりました。

		平成17年度	平成18年度	平成19年度
助成部門	助成先数	34機関	25	27
	助成金額	12,720千円	15,220	13,220
	奨学金	6,480千円	5,952	5,238
	金額計	19,200千円	21,172	18,458

小学生図画コンクールの開催

昭和38年以来、将来を担うこどもたちの健全な成長と一枚の図画を通して家族の絆を強めていただくことを目的に、毎年「小学生図画コンクール」を開催しております。(社)富山県教育会、(株)北日本新聞社、北日本放送(株)、(財)富山第一銀行奨学財団の協賛を得て、45回を数えました。今年度も平成18年12月より作品募集を開始し県内外168校から6,824点の応募があり、平成19年3月11日(日)に審査結果発表、表彰式を行いました。



図画コンクール表彰式

公益信託「富山ファーストバンク社会福祉基金」の活動

普銀転換10周年事業として設立された公益信託富山ファーストバンク社会福祉基金では、平成12年の設立以来、住民参加型の社会福祉事業やボランティア活動等に助成しております。平成19年度までの助成金額合計は88団体、24,190千円となりました。

次回も多数の皆さまのご応募をお待ちしております。

	平成17年度	平成18年度	平成19年度
助成先数	7団体	11	13
助成金額	3,570千円	3,450	3,600

資産運用ブラザセミナー

経済や外国為替、くらしの税金、投資信託、外債、老後のお金、年金、退職金の運用などのテーマを用意しております。知りたいこと、聞いておきたいことをわかりやすくお話しします。お気軽にお越しください。



資産運用ブラザセミナーの様子

開催実績

回次	開催日	テーマ
15	平成18年11月20日	きちんと考えたい資産運用
16	平成18年12月14日	今後の株式相場
17	平成19年1月25日	新春の株式相場動向
18	平成19年2月22日	生活習慣病の予防について
19	平成19年3月22日	年金資産物語
20	平成19年4月21日	あなたのライフプランを応援します
21	平成19年5月30日	今後の株式相場について

今後の開催予定等は当行ホームページに掲載しております。

お知らせ

本人確認について

麻薬等の不正取引をはじめとする組織的な犯罪から得た資金の洗浄（「マネー・ローンダリング」といいます。）及びテロ資金供与の防止を行うことが、国際的に重要な課題となっております。

日本においても「金融機関等による顧客等の本人確認等及び預金口座等の不正な利用の防止に関する法律」により、お取引の際にはお客さまの本人確認を行うため、所定の公的証明が必要となりますのでご了承ください。

また、平成19年1月からは、10万円を超える現金による振込みを行う場合なども、新たに本人確認を要することになりました。

◎詳しくは窓口へお問合せください。

「振り込め詐欺」にご注意ください

振り込め詐欺が頻発しています。不審な請求があった場合は、ご家族や警察に相談して事実関係を確認した上で対処してください。

身に覚えのない返済請求などがあった場合も安易に振込等を行わないようご注意ください。不安な方は、最寄りの警察や消費生活センターなどにご相談ください。

ATMご利用に関するお知らせ

最近、キャッシュカードと運転免許証等が同時に盗まれ、暗証番号を生年月日等としていたためATMから現金が不正に引き出される被害が多発しております。今後もお客さまに安心してお取引していただくため、第三者から推測され易い暗証番号をご使用の場合は、暗証番号を変更してくださるようお願い致します。当行では、平成19年1月よりキャッシュカードの「1日当たりのご利用限度額」を200万円から100万円に変更させていただきました。

◎当行のATMでは暗証番号の変更が可能です。

偽造・盗難キャッシュカード被害に対する補償について

当行では、「偽造カード等及び盗難カード等を用いて行われる不正な機械式預貯金払戻し等からの預貯金者の保護等に関する法律」の施行に伴い、偽造・盗難キャッシュカード被害に対する補償を行っております。

- ・補償対象となるキャッシュカード 個人のお客さまのキャッシュカード
- ・補償の対象 偽造・変造、盗難キャッシュカードを使用した不正な引出し

◎詳しくは窓口へお問合せください。

富山第一銀行ヘルプデスク
盗難・紛失等のトラブルはここにお電話を！
フリーダイヤル 0120-552495
TEL 076-433-7717

24時間
対応！

お客さま満足度向上を目指して

当行では、第10次長期経営計画で目指しております「お客さま満足度の向上」のため、平成18年2月に「第1回お客さま満足度アンケート」を実施いたしました。

アンケート回収結果は下記のとおりです。

	回答依頼件数	回収件数	回収率
個人のお客さま	1,988	1,226	61.7%
法人のお客さま	496	337	67.9%

「第1回お客さま満足度アンケート集計結果」の概要については、当行ホームページに掲載しております。

個人情報の保護について（個人情報保護宣言 要約）

富山第一銀行は、お客さまの個人情報ならびに業務上の取引に関連して取得する個人情報について、下記の考え方・方針に基づき適正かつ厳格に取扱うことを宣言いたします。

1. 個人情報の取扱いに関し、「個人情報の保護に関する法律」および全国銀行協会制定自主ルール等を遵守いたします。
2. 個人情報の取得は適法かつ適正に行い、利用にあたってはその利用目的を特定し、利用目的の達成に必要な範囲において取り扱います。当行とご本人との間で契約を締結することに伴って、直接書面に記載されたご本人の個人情報を取得する場合には、その利用目的をご本人に明示いたします。取得した個人データは、ご本人の同意を得ている場合、法令に基づく場合等を除き、第三者に提供することはいたしません。
3. 取得した個人データを取扱う部店ごとに管理者を設置する等、組織的・人的・技術的な安全管理措置を講じます。また、取得した個人データを正確かつ最新の内容にするよう常に適切な措置を講じるよう努力いたします。
4. お客さまがご自身に関する個人データについて開示・訂正・利用停止等をご請求される場合は、当行本支店の窓口にお申し出下さい。
5. 当行の個人情報の取扱いおよび安全管理措置に関するご質問、苦情については、お取引しておられる支店窓口のほか、下記の相談窓口で受付いたします。

【個人情報の取扱いおよび安全管理措置に関する相談窓口】

〒930-8630 富山県富山市総曲輪2丁目2番8号
株式会社富山第一銀行 営業企画部お客さま相談室
フリーダイヤル 0120-462550（受付時間：平日9時から17時）

6. 個人情報保護のための体制および取組みについては継続的に見直しを行い、その改善に努めます。

詳しくは当行ホームページ <http://www.first-bank.co.jp/> をご覧ください。

連結貸借対照表

(平成19年3月31日現在)

(単位：百万円)

科目	金額
資産の部	
現金預け金	10,683
コールローン及び買入手形	15,000
買入金銭債権	221
商品有価証券	322
金銭の信託	900
有価証券	297,477
貸出金	660,795
外国為替	3,020
その他資産	7,177
有形固定資産	18,124
建物	1,633
土地	7,183
その他の有形固定資産	9,307
無形固定資産	614
その他の無形固定資産	614
支払承諾見返	7,239
貸倒引当金	△9,216
資産の部合計	1,012,359
負債の部	
預金	861,080
譲渡性預金	25,054
コールマネー及び売渡手形	11,581
借入金	18,685
外国為替	0
その他負債	4,707
役員賞与引当金	24
退職付引当金	3,464
役員退職慰労引当金	420
繰延税金負債	3,486
再評価に係る繰延税金負債	1,656
支払承諾	7,239
負債の部合計	937,401
純資産の部	
資本金	8,000
資本剰余金	5,433
利益剰余金	41,699
自己株式	△181
株主資本合計	54,950
その他有価証券評価差額金	13,822
繰延ヘッジ損益	0
土地再評価差額金	2,027
評価・換算差額等合計	15,849
少数株主持分	4,158
純資産の部合計	74,958
負債及び純資産の部合計	1,012,359

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(平成18年4月1日から平成19年3月31日まで) (単位：百万円)

科目	金額
経常収益	27,898
資金運用収益	19,238
貸出金利	12,516
有価証券利息配当金	6,482
コールマネー利息及び買入手形利息	15
預け金利息	0
その他の受入利息	224
役員取引等収益	2,346
その他業務収益	5,431
その他経常収益	881
経常費用	22,142
資金調達費用	1,870
預金利息	1,400
譲渡性預金利息	52
コールマネー利息及び売渡手形利息	191
債券貸借取引支払利息	36
借入金利息	61
その他の支払利息	128
役員取引等費用	1,217
その他業務費用	4,828
営業経費	11,662
その他経常費用	2,562
貸倒引当金繰入額	1,843
その他の経常費用	718
経常利益	5,756
特別利益	637
固定資産処分益	0
償却債権取立益	636
特別損失	86
固定資産処分損	8
減損損失	78
税金等調整前当期純利益	6,307
法人税、住民税及び事業税	2,172
法人税等調整額	1,262
少数株主利益	280
当期純利益	2,592

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結株主資本等変動計算書

(平成18年4月1日から平成19年3月31日まで) (単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
前連結会計年度末残高	8,000	5,432	39,504	△ 150	52,787
当連結会計年度変動額					
剰余金の配当(注)			△ 212		△ 212
剰余金の配当			△ 212		△ 212
役員賞与(注)			△ 24		△ 24
当期純利益			2,592		2,592
自己株式の取得				△ 61	△ 61
自己株式の処分		0		29	29
土地再評価差額金の取崩			50		50
繰延税金以外の項目の繰延ヘッジ損益					
当連結会計年度変動額合計	-	0	2,194	△ 31	2,163
当連結会計年度末残高	8,000	5,433	41,699	△ 181	54,950

	評価・換算差額等				少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	評価・換算差額等合計		
前連結会計年度末残高	10,307	-	2,077	12,384	3,967	69,139
当連結会計年度変動額						
剰余金の配当(注)						△ 212
剰余金の配当						△ 212
役員賞与(注)						△ 24
当期純利益						2,592
自己株式の取得						△ 61
自己株式の処分						29
土地再評価差額金の取崩						50
繰延税金以外の項目の繰延ヘッジ損益	3,515	0	△ 50	3,465	190	3,666
当連結会計年度変動額合計	3,515	0	△ 50	3,465	190	5,819
当連結会計年度末残高	13,822	0	2,027	15,849	4,158	74,958

(注) 平成18年6月の定時株主総会における利益処分項目であります。

第96期末 貸借対照表

(平成19年3月31日現在)

(単位：百万円)

科目	金額	科目	金額
資産の部		負債の部	
現金預け金	10,568	預金	861,569
現金	8,605	当座預金	49,915
預け金	1,962	普通預金	234,070
コールローン	15,000	貯蓄預金	38,682
買入金銭債権	221	通知預金	6,548
商品有価証券	322	定期預金	517,059
商品国債	300	定期積金	8,269
商品地方債	21	その他の預金	7,024
金銭の信託	900	譲渡性預金	25,054
有価証券	288,279	コールマネー	11,581
国債	90,610	借入金	15,000
地方債	26,740	借入金	15,000
社債	45,371	外国為替	0
株式	51,697	売渡外国為替	0
その他の証券	73,859	未払外国為替	0
貸出金	673,163	その他負債	3,304
割引手形	40,489	未決済為替債	232
手形貸付	63,288	未払法人税等	672
証書貸付	490,335	未払費用	1,417
当座貸越	79,050	前受収益	470
外国為替	3,020	従業員預り金	257
外国他店預け	1,941	給付補てん備金	3
買入外国為替	5,411	金融派生商品	41
取立外国為替	537	その他の負債	208
その他資産	3,367	役員賞与引当金	24
未決済為替貸	107	退職給付引当金	3,451
前払費用	32	役員退職慰労引当金	420
未収収益	1,652	繰延税金負債	3,366
金融派生商品	40	再評価に係る繰延税金負債	1,656
その他の資産	1,533	支払承諾	7,239
有形固定資産	9,724	負債の部合計	932,668
建物	1,552	純資産の部	
土地	7,116	資本金	8,000
その他の有形固定資産	1,055	資本剰余金	5,430
無形固定資産	44	資本準備金	5,430
その他の無形固定資産	44	利益剰余金	41,528
支払承諾見返	7,239	利益準備金	2,081
貸倒引当金	△8,606	その他利益剰余金	39,447
		別途積立金	33,860
		繰越利益剰余金	5,587
		自己株式	△ 181
		株主資本合計	54,777
		その他有価証券評価差額金	13,772
		繰延ヘッジ損益	0
		土地再評価差額金	2,027
		評価・換算差額等合計	15,799
		純資産の部合計	70,576
資産の部合計	1,003,245	負債及び純資産の部合計	1,003,245

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第96期 損益計算書

(平成18年4月1日から平成19年3月31日まで) (単位：百万円)

科目	金額
経常収益	
資金運用収益	19,059
貸出金利息	12,595
有価証券利息配当金	6,224
コールローン利息	15
預け金利息	0
その他の受入利息	224
役員取引等収益	2,339
受入為替手数料	851
その他の役員収益	1,488
その他業務収益	351
外国為替売買益	297
商品有価証券売買益	11
国債等債券売却益	362
国債等債券償還益	84
その他の業務収益	95
その他経常収益	867
株式等売却益	780
金銭の信託運用益	3
その他の経常収益	82
経常費用	17,873
資金調達費用	1,818
預金利息	1,400
譲渡性預金利息	52
コールマネー利息	191
債券貸借取引支払利息	36
借入金利息	9
その他の支払利息	128
役員取引等費用	1,238
支払為替手数料	300
その他の役員費用	938
その他業務費用	730
国債等債券売却損	667
国債等債券償還損	28
その他の業務費用	34
営業経費	11,504
その他経常費用	2,581
貸倒引当金繰入額	1,919
貸出金償却	0
株式等売却損	0
株式等償却	13
その他の経常費用	647
経常利益	5,244
特別利益	635
固定資産処分益	0
償却債権取立益	634
特別損失	86
固定資産処分損	8
減損損失	78
税引前当期純利益	5,793
法人税、住民税及び事業税	1,995
法人税等調整額	1,220
当期純利益	2,577

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第96期 株主資本等変動計算書

(平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)

(単位：百万円)

	株主資本						評価・換算差額等				純資産合計			
	資本金	資本準備金	資本剰余金	利益準備金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金		評価・換算差額等合計		
前事業年度末残高	8,000	5,430	5,430	1,991	31,360	5,998	39,349	△ 149	52,630	10,250	-	2,077	12,327	64,957
当事業年度変動額														
利益準備金の積立(注)				47	△ 47									
利益準備金の積立				42	△ 42									
別途積立金の積立(注)					2,500	△ 2,500								
剰余金の配当(注)					△ 212	△ 212		△ 212						△ 212
剰余金の配当					△ 212	△ 212		△ 212						△ 212
役員賞与(注)					△ 24	△ 24		△ 24						△ 24
当期純利益						2,577	2,577		2,577					2,577
自己株式の取得								△ 37	△ 37					△ 37
自己株式の処分								5	5					5
土地再評価差額金の取崩									50					50
株主資本以外の項目の当事業年度変動額(別添)										3,522	0	△ 50	3,472	3,472
当事業年度変動額合計					2,500	△ 410	2,178	△ 32	2,146	3,522	0	△ 50	3,472	5,618
当事業年度末残高	8,000	5,430	5,430	2,081	33,860	5,587	41,528	△ 181	54,777	13,772	0	2,027	15,799	70,576

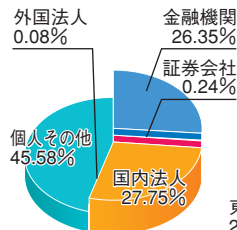
(注) 平成18年6月の定時株主総会における利益処分項目であります。

株式のご案内

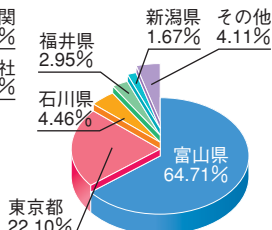
1. 株式の状況（平成19年3月31日現在）

(1) 発行する株式の総数	180,000,000株
(2) 発行済株式の総数	60,809,700株
(3) 当期中の名義書換件数	470件
(4) 当期中の名義書換株数	3,037,999株
(5) 株主数	5,772名

[所有者別株式数]



[地域別株式数]



2. 決算日

毎年3月31日

3. 定時株主総会

毎年6月に開催いたします。

4. 配当金受領株主確定日

- (1) 利益配当金 毎年3月31日
- (2) 中間配当金 毎年9月30日

なお、配当金のお受け取りには、お近くの当行本支店の預金口座へ振込のご指定をいただきますと、お受け取りが早くてまがいもなく便利です。

5. 基準日

定時株主総会については3月31日といたします。
その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。

6. 公告掲載新聞名

富山市において発行する北日本新聞

7. 株式取扱手数料

- (1) 株式名義書換無料
- (2) 新券交付株券1枚につき200円
- (3) 株券喪失登録1件につき3,000円
株券1枚につき360円

8. 株主名簿管理人・事務取扱場所・取次所

- (1) 株主名簿管理人
(〒100-0005) 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社
- (2) 同事務取扱場所
(〒100-0005) 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
- (3) 同 連 絡 先 (郵便物送付先及び電話照会先)
(〒137-8081) 東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-232-711 (フリーダイヤル)
- (4) 同 取 次 所
三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店

役員（平成19年6月29日現在）

取締役

取締役頭取	金岡純二
常務取締役	福原祥二
常務取締役	武隈光男
常務取締役	岡本諦観
常務取締役	橋本一次
取締役	稲垣義雄
取締役	藤岡正紀
取締役	南茂敬文
取締役	本多正文
取締役	浅井澄夫
取締役	浅野博文

監査役

常勤監査役	平井彦次郎
常勤監査役	澤田清孝
監査役	中尾哲雄
監査役	梅沢直正

執行役員

執行役員 藤澤繁幸

連結子会社の状況（平成19年3月31日現在）

会社名/本店所在地	業務内容	資本金	設立年月日
富山ファースト・ビジネス(株) 富山市奥田本町6番35号(富山ファイナンスビル内)	現金などの精査・整理 労働者派遣事業等	百万円 10	昭和63年2月13日
富山ファースト・リース(株) 富山市掛尾町626番地(ファーストバンク・グリーンビル5F)	リース業務等	30	昭和59年12月1日
富山ファースト・ディーシー(株) 富山市掛尾町626番地(ファーストバンク・グリーンビル6F)	クレジットカード 信用保証業務等	20	昭和62年3月18日
富山ファースト機販(株) 富山市掛尾町626番地(ファーストバンク・グリーンビル5F)	リース業務等	10	平成元年11月28日
(株)富山ファイナンス 富山市掛尾町626番地(ファーストバンク・グリーンビル4F)	信用保証業務等	10	昭和29年10月5日

■ ファースト・バンク店舗のご案内 (平成19年5月31日現在)

富山県内 (56カ店)

★本店	富山市総曲輪二丁目2番8号	(076) 424-1211
本店営業部総曲輪出張所	同 総曲輪一丁目7番15号	(076) 442-8012
★ニューセンター支店	同 牛島新町5番5号	(076) 444-8111
★富山南センター支店	同 掛尾町626番地	ファーストバンク グリーンビル2F (076) 424-1470
グリーンビル・ ローンセンター支店	同 掛尾町626番地	ファーストバンク グリーンビル1F (076) 422-6100
●富山駅前支店	同 新富町一丁目4番7号	(076) 441-4466
●堤町支店	同 堤町通り二丁目2番15号	(076) 423-7691
●石金支店	同 石金三丁目1番1号	(076) 424-1786
●五福支店	同 五福字才勝1922番地の8	(076) 431-8086
●小泉支店	同 西中野本町12番10号	(076) 423-8381
●下新支店	同 千代田町9番14号	(076) 432-3651
●東町支店	同 東町一丁目5番1号	(076) 421-2311
岩瀬支店	同 東岩瀬町295番地	(076) 437-7124
水橋支店	同 水橋町25番地の4	(076) 478-2141
堀支店	同 下堀54番地	(076) 423-2230
問屋町支店	同 問屋町二丁目11番38号	(076) 451-1177
荏原支店	同 向新庄200番27	(076) 423-8540
月岡支店	同 開発201番地	(076) 429-5511
根塚町支店	同 新根塚町一丁目5番25号	(076) 491-2233
針原支店	同 金泉寺247番地	(076) 451-2111
呉羽支店	同 呉羽町7162番地の5	(076) 436-1122
●山室支店	同 山室187番地の9	(076) 492-1710
北の森支店	同 森三丁目2番11号	(076) 437-5000
鵜坂支店	同 婦中町分田88番地の4	(076) 422-1170
●婦中支店	同 婦中町速星818番地	(076) 466-2121
●八尾支店	同 八尾町東町2231番地	(076) 454-3141
大沢野支店	同 上大久保1899番地	(076) 467-2336
上滝支店	同 上滝288番地	(076) 483-1311
立山支店	中新川郡立山町五百石16番地の1	(076) 463-1235
上市支店	同 上市町三日市47番地の15	(076) 473-1230
●滑川支店	滑川市下小泉町75番地の4	(076) 475-3101
★魚津支店	魚津市中央通り一丁目7番9号	(0765) 24-1234
魚津駅前支店	同 上村木一丁目1番25号	(0765) 24-4433
●黒部支店	黒部市牧野83番地の1	(0765) 52-1230
●宇奈月支店	同 宇奈月温泉243番地	(0765) 62-1019
入善支店	下新川郡入善町入膳5430番地	(0765) 72-1188

泊支店	下新川郡朝日町平柳688番地	(0765) 82-1155
★高岡支店	高岡市丸の内1番12号	(0766) 21-3130
★イオンFB支店	同 下伏間江383番地	(0766) 27-1231
●高岡中央支店	同 木舟町80番地1	(0766) 22-5678
●昭和町支店	同 昭和町三丁目3番20号	(0766) 23-7337
清水支店	同 清水町二丁目3番24号	(0766) 24-2526
中川支店	同 東中川町1番34号	(0766) 24-6363
大野支店	同 大野158番地の1	(0766) 23-2353
福岡支店	同 福岡町下叢385番地	(0766) 64-5800
太閤山支店	射水市中太閤山一丁目1番地6	(0766) 56-3688
大門支店	同 大門104番地の3	(0766) 52-5507
●新湊支店	同 中新湊13番5号	(0766) 84-4124
水見支店	水見市丸の内10番24号	(0766) 74-1600
水見南支店	同 柳田2081番地の4	(0766) 91-1200
●砺波支店	砺波市本町2番27号	(0763) 32-3363
●福野支店	南砺市福野1320番地1	(0763) 22-2151
城端支店	同 城端158番地1	(0763) 62-1204
井波支店	同 山見1739番地17	(0763) 82-1525
福光支店	同 福光7367番地	(0763) 52-1211
●石動支店	小矢部市本町2番4号	(0766) 67-0581

富山県外 (11カ店)

★金沢支店	金沢市尾山町1番8号	(076) 221-6131
泉支店	同 泉二丁目6番7号	(076) 242-1881
東大通支店	同 元町二丁目15番15号	(076) 251-5911
糸魚川支店	糸魚川市本町9番9号	(025) 552-1711
●直江津支店	上越市五智一丁目1番27号	(025) 543-3771
●長岡支店	長岡市城内町二丁目2番地1	(0258) 33-4810
●神岡支店	飛騨市神岡町船津1201番地の3	(0578) 82-1031
●高山支店	高山市本町三丁目58番地	(0577) 32-2820
★東京支店	東京都千代田区神田岩本町2番地	(03) 3256-6311
名古屋支店	名古屋市中区大須三丁目14番62号	(052) 261-5871
★大阪支店	大阪市西区靉本町一丁目9番15号	(06) 6443-4651

★印…外国為替取扱店

●印…外貨両替取扱店

店舗外キャッシュサービスコーナーのご案内 (80カ所)(平成19年5月31日現在)

富山市

- 富山第一銀行総合事務センター
- アーバンプレイス
- 富山赤十字病院
- ★ J R 富山駅
- ★ マリエとやま
- ★ 高志会館
- 富山県庁
- 富山市役所
- ★ ショッピングシティアピア
- 北日本スクエア
- ★ 総曲輪通り
- 富山市民病院
- ★ 越州村
- ★ アピタ富山店
- ★ 本郷町
- ★ グリーンモール山室
- ★ 大阪屋北新町店
- 富山県立中央病院
- ★ マックスバリュート上飯野店
- ★ アピタ富山東店
- 富山機械工業センター
- 富山県高志リハビリテーション病院
- 済生会富山病院
- ★ 北の森ショッピングタウン
- ★ 水橋ミューズ
- ★ サンショウ石坂店

- 富山企業団地
- 富山大学(学生会館内)
- 富山大学附属病院
- ポートラムスクエア
- ★ ファボーレ
- 婦中鉄工業団地
- ★ 笹倉
- ★ J R 八尾駅前
- 富山市大沢野総合行政センター前
- ★ グリーンバレー大沢野
- 富山国際大学

立山町

- 立山町役場前
- ★ 立山ナビオ前

上市町

- ★ マックスバリュート上市店

滑川市

- 滑川市役所前
- ★ エール滑川
- ★ パスタ前
- ★ プラント3滑川店

魚津市

- 魚津市役所前
- ★ アップルビル
- ★ アピタ魚津店

黒部市

- 黒部市役所

- ★ バルフェ黒部店前
- ★ エーシーシー黒部店前
- ★ メルシー黒部
- ★ アピタ黒部店
- 黒部市役所宇奈月庁舎前

朝日町

- ★ 荒川

入善町

- 入善町役場前
- ★ 入善コスモ21

高岡市

- ★ J R 高岡駅
- ★ 高岡サティ
- ★ スーパーヒラキストア大坪店前
- 高岡市民病院
- ★ ジャスコ高岡店
- ★ イオン高岡

射水市

- アイシン軽金属
- 射水市役所小杉庁舎前
- ★ 太閤山バスコ
- ★ アル・プラザ小杉
- ★ いみずのショッピングタウン
- ★ イータウン
- 射水市役所大門庁舎前
- 三精工業前
- ★ 西新湊

氷見市

- ハッピータウン氷見
- ★ 氷見ブラファ

砺波市

- ★ アピタ砺波店
- ★ ジャスコ砺波店
- ★ サンコー砺波中央店

南砺市

- ★ 福野ア・ミュー
- 南砺中央病院

小矢部市

- ★ ユニー小矢部店

飛騨市

- ★ ハロー神岡店

- …土曜日稼働店
- …土曜日・日曜日稼働店
- ★…祝日稼働店

その他、北国銀行、福井銀行の全てのATMでの入出金が無料で利用できます。(FITネットATM)
但し、北国銀行のコンビニATMを除きます。
平日の18時以降、土・日・祝日の休日時間
外手数料は有料となります。

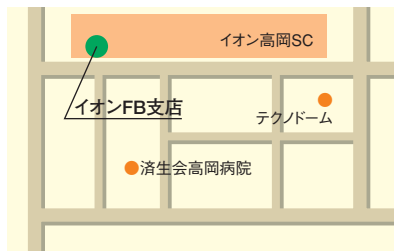
住宅ローン相談所のご案内 ローン専用フリーダイヤル 0120-161665

■グリーンビル・ローンセンター支店
TEL (076) 422-6100



平日 9時～19時
土・日・祝日 10時～17時

■イオンFB支店
TEL (0766) 27-1231



平日 9時～20時
土・日・祝日 10時～17時

■魚津駅前支店
TEL (0765) 24-4433



平日 9時～17時
土・日・祝日 10時～16時